

日本の地域経済Ⅱ

科目ナンバリング ECP-218
選択 2単位

石川 義孝

1. 授業の概要(ねらい)

グローバル化の厳しい影響を受けつつ、独自の展開を見せる日本経済の地域的展開のしくみ、および、東京一極集中や地方の衰退など、格差拡大が叫ばれる地域経済の実態を、具体的なデータに基づいて講述します。過去半世紀における時系列的な変化についても、可能な限り概説します。また、関係する経済地域政策のあり方についても、紹介します。

2. 授業の到達目標

- ①日本の地域経済についての雑誌・新聞などの経済記事を理解する。
- ②日本の各地域の地域経済の全国における位置づけを説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

授業の理解度を確認するための小テスト(数回、不定期)を50%、最後の授業で行う試験を50%として、その合計で評価する。小テストは、「2.授業の到達目標」に関連する各回の内容について、問います。

4. 教科書・参考文献

教科書

竹内淳彦・小田宏信 日本経済地理読本(第9版) 東洋経済新報社
春期に第1～3章、秋期に第4～6章を使います。

5. 準備学修の内容

教科書を指定していますので、予習や復習をして、授業に臨んでいただくことが重要です。そのさい、教科書に紹介されているデータは、多くの場合、2010年が最新年次ですので、それ以降のデータがどうなっているかや、平成の大合併で従来の市町村がどう再編されたのか、などに関して、各自調べてみて下さい。

6. その他履修上の注意事項

春期と秋期を連続で受講していただくのが、望ましいです。

7. 授業内容

- 【第1回】 <講義>授業の進め方
- 【第2回】 <講義>北海道
- 【第3回】 <講義>東北
- 【第4回】 <講義>四国
- 【第5回】 <講義>南九州
- 【第6回】 <講義>沖縄
- 【第7回】 <講義>北関東
- 【第8回】 <講義>東山
- 【第9回】 <講義>東海
- 【第10回】 <講義>北陸
- 【第11回】 <講義>山陽
- 【第12回】 <講義>北九州
- 【第13回】 <オンライン>経済地域システムの変化の動向
- 【第14回】 <講義>経済地域政策の新しい視点
- 【第15回】 <講義>秋期のまとめ
<試験>